

第10回狛江市教育振興基本計画改定検討委員会会議録

1 日 時 令和2年2月10日（月）19:00～20:00

2 場 所 4階特別会議室

3 出席者

委員長	渡辺 秀貴（学識経験者）
副委員長	塚越 博道（社会教育委員）
委員	佐伯 英徳（狛江市小・中学校代表）
委員	高橋 こころ（PTA代表）
委員	半澤 嘉博（特別支援教育有識者）
委員	佐々木リディア（国際化推進・環育有識者）
委員	氏家 嘉代（市民委員）
委員	中野 育三（市民委員）

事務局	有馬 守一（教育長）
	小嶺 大進（教育部理事兼指導室長）
	宗像 秀樹（学校教育課長）
	高橋 治（学校教育課教育庶務係長）
	石渡 和香子（学校教育課教育庶務係）
	三角 紳太郎（学校教育課教育庶務係）

4 欠席者 な し

5 傍聴者 な し

6 議 事 1. 議題

(1) 第3期狛江市教育振興基本計画 答申（案）について

2. その他

資料1 第3期狛江市教育振興基本計画（最終答申）案

資料2 第3期狛江市教育振興基本計画骨子案に対するパブリックコメントの結果（概要）を公表します。

7. 会議概要

教育長あいさつ

学校教育課長 本日が最後の会議となる。開会に先立ち教育長からご挨拶をさせていただきます。

教育長 長い間熱心に議論をいただき、感謝を申し上げたい。第3期教育振興基本計画はこれから求められる大事な要素が大変良く整理されており、感銘を受けている。今後この計画を教育委員会の指針として、どのように事業計画を展開していくのかが事務局の役目である。私は3月末に退任する予定であるが、新しい小・中学校学習指導要領の全面实施という節目の年に、皆様に策定していただいた教育振興基本計画の改定案を新しい体制に託すことができるのは大変心強く思う。今後とも教育現場の推移を見守っていただきながら、引き続き様々な形で助言と支援をお願い申し上げる。

学校教育課長 教育長はこの後他の公務がございますので、退出させていただきます。
(教育長退出)

会議概要

委員長 それでは、第10回狛江市教育振興基本計画改定検討委員会を開催する。事務局より本日の資料の説明をお願いします。

事務局 (配布資料確認)

委員長 資料2のパブリックコメントの最終回答は、提案していただいたものに対し、謝意を示しながら具体的且つ柔らかい回答の文面になっていると思う。何か意見があれば伺いたい。皆様の意見が反映されていると思うので、他になければ、議題に従って議論を進めていく。

前回は骨子案に対するパブリックコメントへの回答を検討するとともに、答申案の方向性について議論を進めてきた。本日は前回の議論を踏まえ、事務局より提出していただいた最終答申案をもとに、議論を進めていきたい。まず事務局より答申案の説明をお願いします。

事務局 (資料1の説明)

委員長 全体的に補説をしていただいた内容となっている。まずP6までの本

改訂案の基本方針に結び付く概要の部分の追記につき、意見があれば伺いたい。

佐伯委員 P6②学校施設整備の部分、「災害時における地域の防災拠点となることも視野に入れた検討も必要といえます」の文末の「必要といえます」につき、既に検討をはじめているため、この表現は弱いと思う。

委員長 「検討してまいります」とする。

半澤委員 P4(2)第2期計画の進捗状況及び評価の部分、毎年行われる狛江市教育委員会の自己点検及び評価の結果について、市民が教育委員会のホームページで閲覧可能なのか。

事務局 教育委員会のホームページで公開している。

半澤委員 進捗状況及び評価の詳細は教育委員会のホームページで公開していることを欄外で追記した方が良い。

委員長 注釈をつけることとする。
今回の計画案では児童数の推移をグラフで示していただいている。グラフ3で示している令和7年以降の狛江第一小学校の児童数の急減の根拠は何なのか。

事務局 令和7年以降は5年単位となっている。生まれていない子どもも含めた人口推定であり、狛江市の人口ビジョンに基づき学区域ごとに推計している。

副委員長 狛江第一小学校だけを取り上げる必要性はあるのか。

中野委員 P4の狛江第一小学校は令和6年まで児童の大幅な増加が見込まれるとの記載と、図表3で示している令和7年度以降の急減と整合性に欠ける。

委員長 狛江市は生産緑地の指定解除等により、宅地が増え、今後児童数が急激に増える可能性はあるのか。

- 事務局 市の中心から離れた所は用途地域的に大きな建物は建てられない制約がある。
- 委員長 図表3を扱うか、扱う場合増加傾向の部分までとするかにつき、グラフの構造的な問題もあり、私と事務局で再度検討させていただく。
P14以降、今までの議論を踏まえた基本方針の背景と施策展開の方向性につき、まずP14とP15の表現に意見があれば伺いたい。
- 半澤委員 P15の人権に関する基本条例案の予定はどうなっているか。
- 事務局 3月の市議会定例会に議案提出予定。決定後正式な基本条例の名称に時点修正する。
- 委員長 第2期計画の「知・徳・体」を言及した上、グローバル化に対応するため、こういった施策の3本柱を立てたという文脈となっているが、問題ないか。

(異議なしの声)
- 委員長 P16とP17、「教科等横断的な学習」の部分は同じ文言で統一する。
主な事業例の部分、「持続可能な社会」の達成に向けた教育とする。
- 佐伯委員 注釈(20)につき、教科横断的な教育＝STEAM教育ではないため、STEAM教育に関する解説を加えた方がよい。
- 半澤委員 「Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育」の形で入れるのは如何か。
- 委員長 STEAM教育は重視されていくため、今記載されていることに繋げるような文脈で解説を工夫することとする。
基本方針(2)につき、意見があれば伺いたい。(異議なしの声)
基本方針(3)につき、意見があれば伺いたい。(異議なしの声)
基本方針(4)P28「生涯を通じた学びの充実に向けては・・・」が加筆された部分と、図書館の建物が変わらない中で機能的な充実を目指してほしいという意見が反映された部分につき、意見があれば伺いたい。(異議なしの声)

基本方針(5) 狛江への愛着とここで協議されたことが表現されていると思う。意見があれば伺いたい。

副委員長 文化財の保管・展示場所の検討を進めていくことを前向きに訴えるのは大丈夫なのかを確認させていただきたい。

事務局 市の基本計画においても同様の方向性を示しているので教育委員会も同じ姿勢を示すのは問題ない。市長も新たな取り組みとして歴史公園化を進めていく等の施策を重視している。

委員長 全体を通して、意見を伺いたい。

半澤委員 P20 学校評価(校内・関係者保護者・第三者)の句点使いは間違いなのか。

事務局 「校内、関係者・保護者、第三者」の方が正しい。修正する。

半澤委員 P17 キャリア教育につき、新しい学習指導要領によると特別活動の中で自治体は小・中学校で一貫してキャリアパスポート作っていくことになっている。具体的な授業があれば、文言として入れるか或いは具体的な施策として展開する方が良い。

指導室長 キャリアパスポートは作っていく予定。

委員長 キャリア教育に関する具体的な取り組みは行うべきであり、それを含めたキャリア教育と記載するかどうかは事務局と検討の上、判断させていただく。

佐伯委員 P25 につき、文部科学省が打ち出した学校の ICT 環境整備の指針はどのようにここに反映させるか。

指導室長 GIGA スクール構想の児童 1 人 1 台のタブレットの導入は多額の予算が必要であり、狛江市として 4 年後に 1 人 1 台を目標としていくのか、3 クラス 1 学級分(3 人に 1 台)の割合にするかを含め、現在検討段階にあるため、まだ基本計画には載せにくい。

- 委員長 東京都の方針として補助金は出るのか。
- 指導室長 国と都を合わせて55/100の予算が出る。1人1台端末の試算の場合、狛江市では4億程度の予算が必要となる。子どもたちがいつでも使える環境を整えるために必要な台数を含め、財政課と調整中である。
- 委員長 導入し始めている区によると、機材の管理や、成果を挙げるための教員のスキルアップ等現場の負担感が大きい。
- 指導室長 来年度、まず体育館等大容量の通信に対応できていない部分のネットワークの環境整備を始める予定。その上で必要な端末の台数を課題として検討する。
- 佐伯委員 国が12月に具体的な案・金額を打ち出しているため、市として検討しているのであれば、その旨を基本計画の注釈にでも入れても良いのでは。
- 委員長 動向を見ながら、「新しい学びを支える環境の整備」の部分に入れるかどうかを検討する。
- 指導室長 方向性が出れば実施計画に記載できる。
- 副委員長 P15の主な事業例にある「ダイバーシティ教育」の注釈(17)につき、ジェンダーは入っているが、LGBTを入れても良いでは。
- 半澤委員 注釈(17)の冒頭に人権が入っているのが、人権は多様性ではないため、入れるべきではないと思う。
- 委員長 東京都の人権教育プログラムが扱っている具体的な文言と順番を確認し、整合性を整理させていただく。
根幹にかかわることはもう合意形成されているため、部分的な修正につき、事務局と私で最終的に整理させていただく形で一任をいただいてよろしいか。

(異議なしの声)

- 委員長 それでは、本日は最終回のため、委員の皆様 1 人ずつ考え・感想を頂きたいと思う。では、佐々木委員からお願いする。
- 佐々木委員 委員会のお話をいただいた際、具体的な所に貢献しよう思っていたら、レベルの高い話で最初は戸惑ったが、大変勉強になったとともに、色々な所で少しでも貢献できたと思い、ほっとしている。
- 半澤委員 様々な視点から自分自身が学ぶことができた。狛江市は特に障がいのある子どもの教育につき、先駆的に取り組んでいる。子ども一人一人を大切に教育の具体的な展開と、固定学級やインクルーシブ教育システムの展開は全ての小中学校に関わるものである。そういった切口から一人一人を大切にしていって教育の成果を上げていただき、全国に広げていただけるとありがたい。
- 中野委員 地域と体制規模によって施策の内容が随分異なることを理解でき、大変勉強になった。
- 氏家委員 先生方の話についていけるように勉強し、教育のことを一生懸命考える貴重な経験をさせていただき、楽しかった。5年先の社会は予想がつかないが、狛江の子どもたちは世界に羽ばたき、また狛江に戻ってこれることを楽しみにしている。
- 高橋委員 普通の市民にとってわからない話が多く、教育に関して自分の学びにもなり、子どもたちの今後の教育環境を考えていくためにも役立ったのではと思う。この資料は今後5年間活躍し、5年後でも加筆の上、継続していけるような内容に仕上げられたと思う。
- 佐伯委員 小・中学校長代表の立場を忘れずに、市の施策が現場に反映される際どうなるかの視点を失わないように、且つ色々な立場の意見を元に議論を重ね、大変だったが、私自身も勉強になった。また改めて新しい学習指導要領を読み返すことにより、来年度に向けた準備もできたと思う。
- 副委員長 昨年7月から始まって、8ヶ月間、事務局担当の皆様本当に苦労されたと思う。新しい基本計画は第2期より大幅に構成の仕方が変わり、無事に出来上がったのは皆様の力の賜りものと認識している。この

計画で一定の方向性が整った後、教育委員会の各課（館）が狛江市民のためにどのように施策・事業展開をしていくのかに期待していきたい。ここ10年間は教育基本法等が改正になり、教育制度が大きく変更になった10年であった。今後5年間においても色んな教育制度の改正があるかもしれないため、それらに柔軟に対応できるように狛江市民と子どもたちのために尽力していただきたい。

委員長

この話をいただいた時、半年でこれだけの計画を策定するのは難しいと思ったが、集中して検討した結果、2年間議論しても変わらないような内容を仕上げられた。委員の皆様がそれぞれの立場で狛江の教育のことを考えてくださり、事務局の方々が調整し且つ迅速に資料を整理してくださり、時間と人が折り合って良い検討ができたと思う。私は狛江市の小学校長を最後に教育現場を退いているため、狛江の教育に非常に愛着を持っており、今回の話をいただき、このように仕上げることができたのは本当に嬉しく思う。一番大事なのは今後どう具現化していくのかと、変化にどう対応していくのかということである。委員会のメンバーも機会があれば、狛江の教育を支える一員として力を発揮していただければ、この計画は実効的なものになっていくのではと思っている。いろいろ協力いただき感謝を申し上げる。事務局の方からは如何か。

学校教育課長

皆様毎回仕事の後集まっていただき申し訳なかった。皆様のそれぞれの立場から、専門的且つ先進的で非常に鋭い意見・質問を伺い、大いに参考になった。それと同時に皆様の質問に答えられるように常に緊張感をもって会議に参加してきた。狛江の特色を拾い上げつつ、先進的な意見を出していただき非常に良い計画案になった。この良い案を具体化して、今後の教育行政に活かしていきたいと思う。

教育部理事

短期間で委員長をはじめ、委員の皆様にも毎回色んなこと調べていただき、意見をいただき、感謝を申し上げます。皆様の意見を具現化していくのは各課の仕事であり、皆様に協力・指導を頂きながら、しっかり進めていきたいと思っている。今後とも指導を賜りたい。

事務局

今後のスケジュールにつき、本日いただいた意見を踏まえ最終調整を行い、今月中に最終的な答申を纏めたいと思っている。この計画は教育委員会の計画であると同時に、教育大綱・市の計画も兼ねるため、3

月6日に予定している教育委員会定例会議と総合教育会議で市の意見を聞きながら最終的に計画として固めたいと思っている。会議録も出来次第、皆様に確認していただき、公表等していきたい。

半年間感謝を申し上げる。委員長・副委員長には全体的なとりまとめをいただき、佐々木委員と半澤委員には専門的な知見から私どもの足りない部分を補っていただき、先進的部分がありつつ、狛江の良さをさらに伸ばしていく内容になっている。佐伯校長先生にはより教育現場に即した計画になるように尽力いただき、高橋委員、氏家委員と中野委員には市民の視点も踏まえた視点で力添えをいただいた。

皆様の尽力でどこの市の計画に比べても素晴らしいと言える計画になったと思っている。この計画を如何に実現していくかは私どもの課題であり、パブリックコメントもそこを中心に意見をいただいている。皆様の期待と苦勞に報いるように皆様の思いを頑張って実現していきたいと思う。

委員長

それでは、狛江市教育振興基本計画改定検討委員会を終了する。この計画は2024年まで続く。今後も委員の皆様にはお力添えをお願いしたいと思う。